

# 第7回旧吉田茂邸活用検討会議資料

平成19年7月3日  
大磯町企画室

旧吉田茂邸庭園特別公開実施要領（案）	資料1
旧吉田茂邸シンポジウム（仮称）実施要領（案）について	資料2
旧吉田茂邸活用に関する提言書（骨子案）	資料3
「旧吉田茂邸」建物利活用についてのパブリックコメント集	参考資料

## 旧吉田茂邸庭園特別公開実施要領（案）

- 主催 大磯町
- 目的 「旧吉田茂邸」は、我が国の国際社会への復帰と繁栄の礎を築いた故吉田茂元首相が亡くなるまで過ごし、多くの政財界人が訪れ重要な決定がなされた戦後政治史の舞台であり、その歴史的価値や首都圏に残された貴重な緑としての価値は非常に高いものがあります。  
この貴重な遺産を保全し、また国民共有の財産として幅広く活用を図るため、神奈川県が都市公園として整備するまでの間、庭園の特別公開を実施します。
- 実施要領
  1. 実施日 平成 19 年 10 月～平成 19 年 11 月  
(月・火曜日及び特定日を除く 41 日)  
午前 10 時～午後 3 時 (午後 0 時～午後 1 時は除く)
  2. 場 所 旧吉田茂邸庭園
  3. 定 員 1 日 200 人
  4. 実施概要 完全予約制 (往復はがき)  
1 日 4 回 午前 10 時・午前 11 時・午後 1 時・午後 2 時  
1 時間当たりおおむね 50 人以内 (1 グループ 25 人× 2)
  5. 備 考 一般公開の実施については、業者委託により実施する。

## 旧吉田茂邸シンポジウム（仮称）実施要領（案）

○主催 大磯町／共催（依頼予定）神奈川県／協力（依頼予定）大磯プリンスホテル、西武鉄道㈱

○目的 故吉田茂氏は、首相として戦後の荒廃した国の復興と国際社会への復帰を果たし、現在の我が国繁栄の礎を築かれた名宰相であり、当町の名誉町民でもあります。

そして、氏が本宅として居を構えた旧吉田茂邸は、多くの政財界人が訪れた戦後政治史の重要な舞台であり、その歴史的価値とともに、首都圏に残された貴重な緑地としての価値は非常に高いものがあります。

同邸は神奈川県により県立都市公園として、隣接する大磯城山公園と一体的に整備される方針が打ち出され、また、建物部分は町が利活用を図ることとなりました。

本年は氏が亡くなられて 40 年という節目の年でもありますので、シンポジウムを通じて、改めて吉田茂氏の果たされた功績や、旧吉田茂邸の価値についての再認識を図ります。

## ○実施要領

1. 実施日 平成 19 年 10 月 26 日（金）
2. 会場 第 1 部・第 2 部 大磯プリンスホテル国際会議場、第 3 部 旧吉田茂邸
3. 定員 200 人（他に来賓 50 人程度）

## 4. 実施概要

開会 9:30

挨拶 9:30～10:00

第 1 部 10:00～11:00

基調講演 講師 柴田紳一氏（國學院大學 准教授）

演題 「昭和の大宰相吉田茂と大磯」

第 2 部 11:00～12:00

パネルディスカッション 「旧吉田茂邸と大磯（仮題）」

・コーディネーター 柴田紳一氏

・パネリスト・中島信吾氏（防衛省防衛研究所職員）

・菅 孝能氏（邸園文化調査団会長）

・井上浩吉氏（（社）大磯町観光協会会長／大磯遺産保存会会長）

・他 1 名程度

第 3 部 13:30～15:30

旧吉田茂邸見学会（庭園及び建物）※シンポジウム出席者のうち希望者のみ予約制

旧吉田茂邸活用に関する提言書（骨子案）

1. はじめに

（保存に至る経緯、検討会議の設置主旨等を記述します。）

2. 旧吉田茂邸について

（建物の沿革及び保存の必要性について記述します。）

4. 建物の利活用について

（1）利活用の前提条件

- ・ 歴史的価値、建築的価値から保全修復を行い、文化財としての保全を図るとともに、積極的な利活用も行う。
- ・ NPO 組織や町民ボランティア等との協働による建物の維持管理運営を図る。
- ・ 維持管理運営経費の負担軽減を図るため、収益性に最大限配慮する。

（2）活用の方向性

- ・ 建物を歴史的建造物として保全活用する部分、事務管理室として使用する部分、町民利用施設及び休憩施設として活用する部分にゾーニングする。
- ・ 歴史的建造物部分は保全に配慮しながら吉田茂展示室を設置し、有料で一般公開を行うとともに迎賓館的に使用できる貸室も確保し、収益源とする。
- ・ 町民利用施設は町民の交流の場として、各種文化活動やコミュニティ活動等に活用する。
- ・ 休憩施設は来園者の憩いの場とし、飲食物の提供もを行い収益源とする。

5. その他関連事項

（1）記念室の設置

- ・ 本建物とは別に、大磯の邸園文化を象徴する八宰相（伊藤博文、山県有朋、大隈重信、西園寺公望、原敬、寺内正毅、加藤高明及び吉田茂）の別荘暮らしや、近代政治史等を紹介する記念室の設置を検討する。

（2）地域活性化方策との連携

- ・ 神奈川県による「大磯近代歴史文化公園ゾーン」事業の中核施設と位置づけ、他の歴史的・文化的施設との連携や、「おおいそオープンガーデンフェスタ」や「湘南邸園文化祭」等各種イベントとの積極的な連携を図る。
- ・ 大磯町による「歴史と味の散歩路」事業の拠点としての活用を図る。
- ・ 交通手段の分散化を図るため、回遊ミニバスやレンタルサイクル等の導入も検討する。

(3)庭園整備に対する要望

- ・松林の再生
- ・バラ園の再生
- ・鎌倉古道の整備
- ・各種パーティーや小コンサートも出来るガーデンの整備

6. 資料

- (1)経過書
- (2)検討会議設置要綱
- (3)検討会議名簿
- (4)検討会議概要
- (5)パブリックコメント
- (6)その他